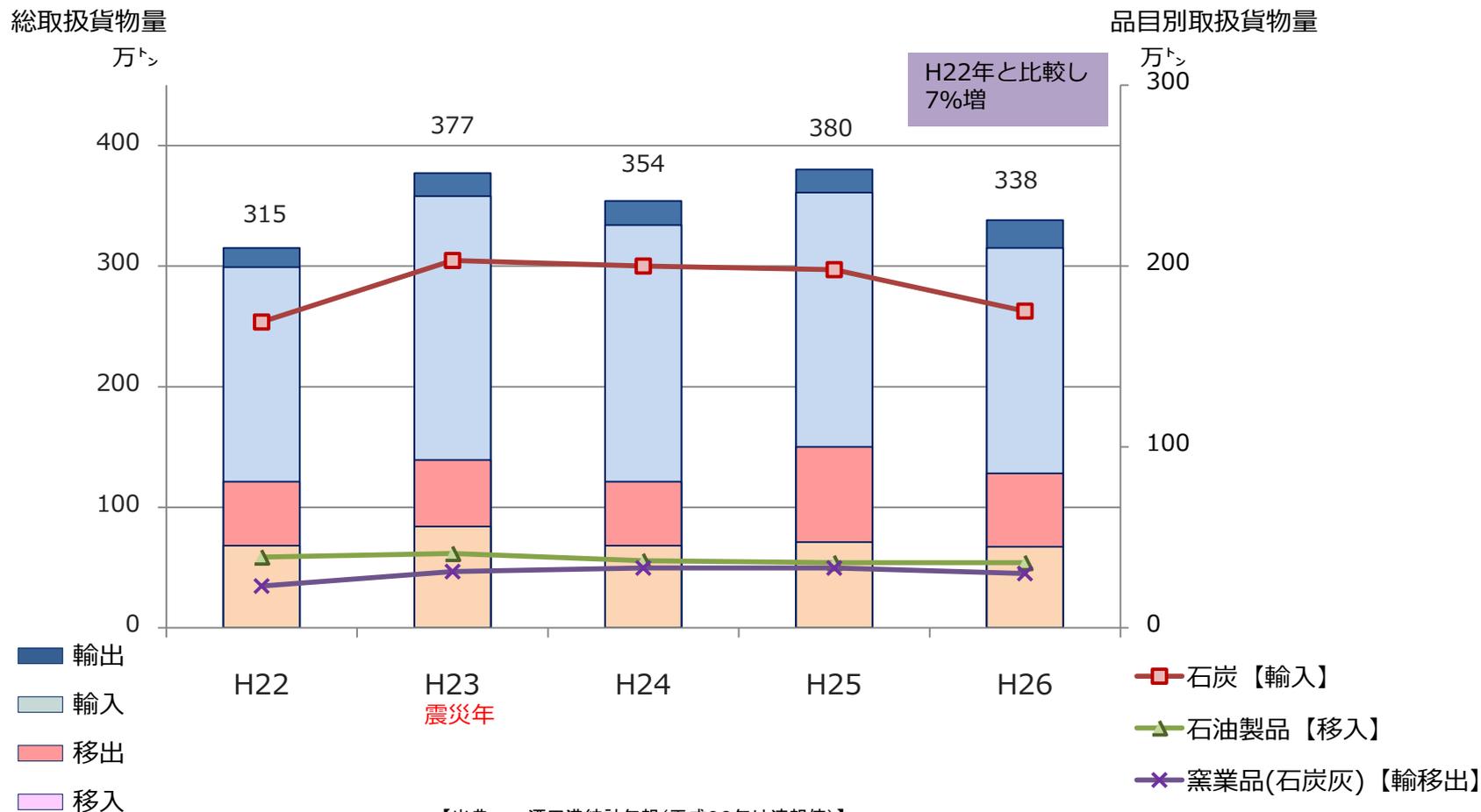


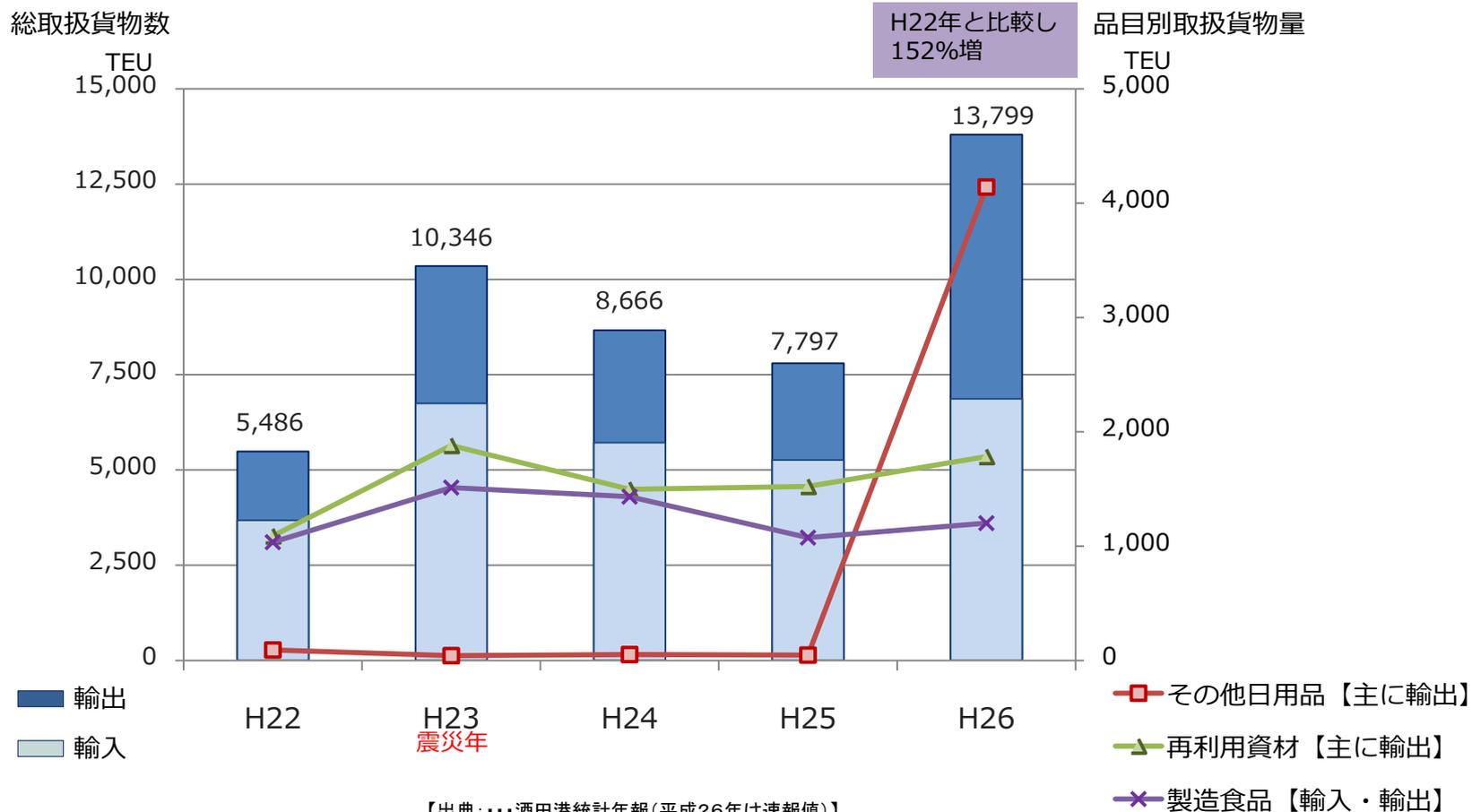
酒田港における取扱貨物量の推移

- 平成26年の取扱貨物量は338万トﾝであり、東日本大震災前のH22年と比較し7%の増。
- 取扱量の約5割を占める石炭は、火力発電用燃料であり、震災以降、火力発電所のフル稼働により、取扱量が増加傾向。※H26は、点検により発電機が一時停止したため、石炭取扱量が減少。



酒田港におけるコンテナ取扱貨物量の推移

- 平成26年のコンテナ取扱貨物数は13,799TEUであり、震災前のH22年と比較し152%の増。
- 要因は、新工場の稼働による日用品（紙おむつ）や原材料（パルプ等）の取扱数が大幅増。



※ 1TEUは20フィートコンテナ（高さ約2.6m、幅約2.4m、長さ約6.1m）1個あたりに換算した単位。40フィートコンテナ1個は2TEUとなる。